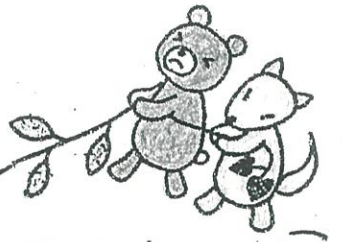




たけすが (まっつうしん)



R2.9.14

相手の気持ちに
合わせて。自分の子ども
に対しては... 3と5の止
まってることでも大事
だよ。

子どもの力を引き出す...

運動会に向けて思うこと... その子のとき

「はい」と (その子の性質や未発達な部分)

に対して、指摘したり、押しつけたりする

のでおたく、私たちがしていること

は、どのようにすればできる

ようにできるか準備すること。

そして「勇気づけ」、

リズム遊びを教え

て下さった石木

先生の言葉を

大切にしてい

ます。

本が大好きな子どもに...

と見聞に絵本の読み聞かせをしてもらった子どもは、

そうでない子どもに比べて、言語習得や小情緒の安定などの

点で大きく異なっているという調査結果があるそうです。また、本

を好きにできるか知らずには、この頃の「経験」(よるところが

大きいようです。ぜひぜひ親子で絵本を開くという「環境」を大切

にしてください。

絵本を通して子どもが感じる、さまざまな「心」

こうして心の動きから「感情」が生まれ、それを

繰り返すことで「感じる心」が育っていきます。

もののつくり、音のつくり、
どきどきした、悲しい、
嬉しい、怖がり、
不思議、嬉しい、
楽しい、嬉しい、
ホットした...

絵本の読み聞かせによる
親子コミュニケーション
お母さんをもっと好き
にさせるぞ!

読み聞かせの
お母さんの声は
活性化し、コミュニケーション
力や感情コントロールに
有効に作用するん
だぞ!!

絵本のココがスゴイ!!

- ・イメージ、想像力の醸成
- ・表現力が養われる
- ・思考力、読解力がつき、ひいては数学、科学、問題解決などの学力の基礎となる
- ・未知への出会いで、知的な好奇心が育まれ、知識、知恵のうく
- ・絵本を通して、社会的常識や生きていく上での教訓などが得られる
- ・思いやり、愛情、豊かさが感情など「心」を育てる
- ・注意力、集中力が身につく

どうして健康な体がつくられる?

人の皮膚(=よ、身本の内部)の保護と共に、外の温度を即座に脳に知らせ、体内の温度を一定に保とうとする働きがあります。暑ければ汗をかいて体内の余分な熱を蒸散させ、体温を下げようとします。寒い日は逆に皮膚の血管を収縮させて熱を逃がさないようにします。このように「敏感」に「暑い」と「寒い」という刺激を受けると自律神経がバランスよく発達していくのです。そうすると免疫力も強くなって、「病気に負けない健康な体」になっていくのです。

薄着のすすめ...

いよいよ秋らしくなってきました。虫の声も聴こえるようになって涼しさも? 日はあざまだ... よく動く子どもたちは汗をたくさんかいています。健康な体づくりには薄着が良い4つの理由

1. 自律神経が鍛えられる
2. 思いやりを体で動かせる
3. 風邪をひきにくくなる
4. 寒さに強くなる